

平和の祈り 国内外へ



県庁展望ホール メインアート「DANDELION (ダンデライオン)」

タンポポのオブジェにスマホをかざすと、綿毛が飛んでガラス窓に花が咲く仕掛け。同時に佐賀城の石垣にも綿毛が飛び花畑が広がる＝県庁展望ホール

特集

佐賀城公園の石垣マッピング 来場者によって県庁展望ホールから綿毛が飛ばされると、天守台の石垣にも綿毛が舞い花畑が広がる



プロジェクションマッピング

ビルの壁面などに主にCG(コンピュータグラフィック)で作成した映像を映し出す表現方法



コラボドリンク

展望ホールにあるレストラン「志乃」でドリンク(税込500円)を買くと、店内のプロジェクションマッピングの部屋でその演出を楽しめる。ドリンクはオレンジ、アップルなど4種類



Pop Up Festival

夜空に浮かぶ雲に乗ると、佐賀の祭りのモチーフが登場する＝県庁展望ホール



佐賀、灯りの庭

夜景が見える窓へのプロジェクションマッピングショー。ダンデライオンと佐賀の祭りの明かりが佐賀の夜景を彩る＝県庁展望ホール

「アート県庁プロジェクト」第6弾
「光の庭」を夜歩き
プロジェクションマッピング

県庁(佐賀城公園)

日暮れになり辺りが薄暗くなると、佐賀城周辺が「光の庭」に変わる。佐賀県が夜の観光スポットを創出しようとして取り組む「アート県庁プロジェクト」。6年目の今回は夜歩きを楽しむイベント「夜歩きアート県庁 NAKED GARDEN SAGA(ネイキッド・ガーデン・サガ)」とし、県庁や佐賀城公園などを含む佐賀城お濠内を「光の庭」と見立て、光の庭を巡り歩くことでパルーン(熱気球)や「唐津くんち」などをモチーフにしたアート作品に触れ、佐賀の魅力を再認識するストーリーになっている。

佐賀城公園 11月23日まで

開催期間は今回初めて加わった佐賀城公園エリアが11月23日までの金・土・日・祝日・祝前日、例年会場となっている県庁展望ホールは来年2月28日まで。まずは開催期間が異なるので注意してほしい。

県庁展望ホール

綿毛を飛ばす

会場は大きく3つのエリアに分かれて

いる。県庁展望ホールは佐賀の夜景と映像を融合させたアート空間で、メインアートは「DANDELION(ダンデライオン、タンポポの英名)」。来場者がスマートフォンで2次元コードを読み取り、自分の名前を入力して、機器にそのコードをかざすと、ガラス窓にタンポポの綿毛と自分の名前が飛んで舞い、花が咲く仕掛けだ。同時に佐賀城天守台の石垣にも同じ映像が映し出される(週末など佐賀城公園エリアの開催日限定)。

本来は、子どもの頃遊んだように、タンポポに息を吹きかけると綿毛が舞うが、新型コロナウイルス感染防止のため、スマートフォンをかざすと綿毛が舞うデザインに変更している。

世界をつなぐ

ネイキッドの公式HPによると、今秋からは京都・平安神宮、熊本城、韓国・ソウルなど、佐賀を含め国内外10カ所にこのタンポポのアートオブジェ「ダンデライオン」が設置される。開催地はネットワークでつながっているため、県庁展望ホールから来場者が綿毛を飛ばせば他の開催地に平和の象徴である花が咲き、逆に他の開催地で綿毛を飛ばせば県庁展望ホールに花が咲く。コロナで直接会えない今だからこそ、ネットワークとデジタルで花を咲かせ合い平和をつなぐ、そんな祈りがコンセプトになっている。



県庁展望ホールへの専用エレベーターを案内する電飾看板。新館と旧館の間にある



SAGA OMATSURI TOUR 県内各地のお祭りを楽しむプロジェクションマッピングショー＝佐賀城本丸歴史館



公式SNS
【公式】アート県庁プロジェクト
「NAKED GARDEN SAGA」
@artkencho



佐賀アート県庁
ネイキッドインク
nakedinc

山口祥義知事
(内覧会でのあいさつ)

今回は初めて県庁から飛び出して、佐賀城周辺でもアートを繰り広げる。来場者のみなさんにも(ダンディオンやディスタンス提灯などで)光を発してもらい、佐賀の夜が光で彩られるようにしたい。



オープニングイベント



お祭り灯り展示～佐賀さいこう～
県内各地の灯りをテーマにしたお祭りとのコラボレーション展示＝佐賀城本丸歴史館
・小城あかりプロジェクト「竹あかり」
・吉野ヶ里光の響「六角登楼」
・うれしのあつたかまつり「絵手紙灯籠」



バルーンライトアップショー
ディスタンス提灯を専用の台に近づけるとバルーンと周辺の照明が連動し空間全体が華やかに彩られる＝佐賀城本丸歴史館



除菌アートつくばい
ボックスに手を入れると、手のひらに除菌アルコールとともに花やバルーンのプロジェクションマッピングが現れる



花みくじ
色や形がさまざまなアーティファクトを自ら選ぶことで、自分自身のお告げとおみくじ。



県内のお祭り体験

続いて、佐賀城公園エリア。天守台の石垣マッピングには、県庁展望ホールなど各地から届く花が石垣の花畑にも広がる。鯨の門を入ると手指のアルコール除菌をアート化したつくばいがあり、手のひらにアルコール消毒液とともにバルーンのプロジェクションマッピングが現れる。本丸歴史館の広場ではバルーンと光のインスタレーションや、県内各地の「光」にまつわるイベントとコラボした展示が並び、大広間外側の板壁で展開される迫力の映像ショーも見ものだ。

夜歩きエリア

ディスタンス提灯

県庁と佐賀城公園までの行き来には、1グループにつき提灯1つを貸し出される。提灯から出る光の輪が人と人の適切な距離を示して、ソーシャルディスタンスを保ちながら、自身も光の演出に加わるアートになっている。

「アート県庁プロジェクト」は2016年にスタートし、累計来場者数が18万人を超えた人気イベント。総合演出はクリエイティブカンパニー「NAKED」(ネイキッド)(東京、村松亮太郎代表)が担当している。



ディスタンス提灯
光の輪でグループディスタンスを保ちつつ、提灯を持っている人は自らも光の演出に参加する

開催期間/県庁展望ホール：～来年2月28日(月)
佐賀城公園：～11月23日(火)の
金・土・日・祝日・祝前日
開催時間/10月 19時～22時(最終入場21時半)
11月～18時半～22時(最終入場21時半)
入場料金/佐賀県庁展望ホール……500円
佐賀城公園……700円
セットチケット(両会場)……1,100円
※小学生以上一律
駐車場/県庁地下駐車場

問い合わせ
【イベント内容について】
アート県庁プロジェクト実行委員会事務局 ☎0952-23-9112
【県の観光施策について】
県観光課 ☎0952-25-7386
【土日休日の連絡先】 ☎0952-24-2111